

# —この場所で、出会う—

日本は四方を海に囲まれ、多くの文化が海流に乗りやって来ました。その中に三味線の原器といわれる楽器がありました。16世紀、琉球を経由して貿易都市「堺」に伝わった明国の三弦(Sanxian)です。以後、外来楽器である三弦は日本で邦楽に欠かせない日本独自の楽器へと改良されていきます。

天下統一した徳川幕府は江戸の都市計画を実施しました。文化芸術の構築も計画のひとつでした。その為、多くの芸人や職人達が上方から江戸へとやって来ました。その中には名も無き三味線職人たちがいました。江戸の地で三味線の啓蒙と改良を続け、三味線は江戸の庶民社会に広がり、長唄、義太夫、常磐津、地歌等の伴奏楽器として江戸文化創造に欠かせない楽器となっていきます。

港区三田四丁目の魚籃坂にある大信寺。春になると門前の年輪を重ねた老木に桜の花が咲き乱れ、坂を通る人々の目を楽しませてくれます。老木の下に碑があり、そこが江戸の文化を築いた三味線製作者一族の菩提寺である事が彫られています。

〈石村近江(いしむらおうみ) 江戸における三味線製作の始祖〉

娯楽の少ない時代、年に一度のお祭りは地域全体がひとつになって楽しんでいました。夜になると宴席から三味線の音と民謡が聞こえてきたものです。日本人にとって三味線は一番近くにある和楽器かもしれません。

16世紀、日本に伝えられた一丁の三弦を偲び、江戸三味線製作者一族の眠る地で三本の糸の音色に出会いましょう。



**陳婉婷**  
Chen Wan-ting

国立台湾藝術大学国楽系卒業。2000年東欧5カ国親善演奏会、トルコ芸術祭他、欧州等での海外演奏経験を積む。現在、苗栗県立国楽団員。小学校国楽部指導教員。



**杵屋勝国毅**  
Kineya Katsukuniki

1980年生まれ。10歳より長唄三味線を叔父、杵屋勝国に師事。坂東玉三郎歌舞伎公演の他、国立劇場、海外公演等で演奏。2010年のAPECでは中村勘三郎「連獅子」を演奏。有明教育芸術短期大学非常勤講師。



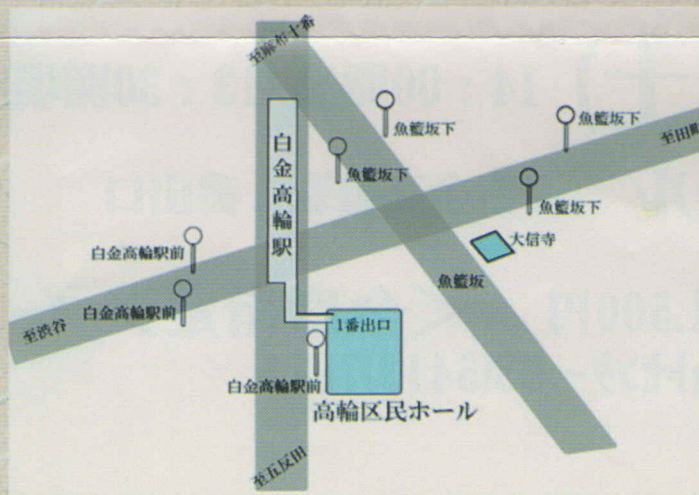
**杵屋勝十郎**  
Kineya Katsujuro

杵屋勝幸恵に師事。幼少期より民謡、津軽三味線など広く楽器に親しむ。東京芸術大学を卒業後は長唄三味線方として、演奏会、放送、歌舞伎公演などに出演し現在に至る。



**今藤龍市郎**  
Imafuji Tatsuichiro

1994年より今藤長龍郎に師事、三味線を始める。1998年今藤龍市郎の名を許される。2001年東京芸術大学音楽部邦楽科卒業。現在歌舞伎公演、海外公演等で演奏。長唄協会会員。国立音楽大学助手。



## 【プログラム】(予定)

- |        |             |
|--------|-------------|
| (三弦)   | (三味線)       |
| 「十八板」  | 「流れ」        |
| 「望春風」  | 吾妻八景「佃の合方」  |
| 「柳青娘」他 | 秋の色種「虫の合方」他 |

## 【会場アクセス】

- 地下鉄(南北線・三田線) 白金高輪駅下車 1番出口徒歩1分
- 都バス(田町-渋谷線/田87) 白金高輪駅前バス停下車徒歩3分  
(品川-新宿線/反97) 魚籃坂下バス停下車徒歩3分  
(五反田-赤羽橋線/反94) 魚籃坂下バス停下車3分  
(東京駅-等々力/東98) 魚籃坂下バス停下車3分
- 港区ちいばす(高輪ルート)高輪地区総合支所前下車徒歩1分

## 【しゃみせん寺 プレコンサート】

2011年9月30日(金) 19:00開演 港区三田 大信寺  
 <<港区民モニター抽選御招待>>

(問合せ・申込はメールにてお願いします) gyoranart@excite.co.jp  
 (制作ブログ) <http://gyoran.exblog.jp>